

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	24041
課題名	炎症性腸疾患患者に対する薬剤師外来の有用性評価
研究期間	西暦 2024 年 6 月 19 日（実施許可日）～2026 年 3 月 31 日
研究の対象	2021 年 4 月 1 日以降に旭川医科大学病院を受診した炎症性腸疾患患者（潰瘍性大腸炎またはクローン病）さん
利用する試料・情報の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 診療情報（詳細：年齢、性別、身長、体重、体重、診断名、病型、診断日、処方薬、服薬状況、病気の経過、血液学的検査：白血球数、好中球数、リンパ球数、単球数、赤血球数、血小板数 など、生化学検査：アルブミン、AST、ALT、クレアチニン、eGFR、CRP、赤沈、LRG など、便検査：便中カルプロテクチンなど） <input type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ） <input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> その他（ ）
試料・情報の管理について責任を有する者	旭川医科大学 学長 西川 祐司
外部への試料・情報提供	<input type="checkbox"/> 自施設のみで利用 <input checked="" type="checkbox"/> 多施設共同研究グループ内（提供先：北海道科学大学）（提供方法：研究代表者が持参） <input type="checkbox"/> 海外へ提供（国名： ）（個人情報保護に関する制度の有無： ） （提供方法： ） <input type="checkbox"/> その他（提供先： ）（提供方法： ） <input checked="" type="checkbox"/> 利用/提供予定日（実施許可日から 1 か月後）
研究組織	研究機関名 旭川医科大学病院  ○研究代表者 病院薬剤部・国内研究員 岩山 訓典  ○研究分担者 病院薬剤部・教授/薬剤部長 田崎 嘉一 病院薬剤部・准教授/副薬剤部長 中馬 真幸 病院薬剤部・副薬剤部長 山本 譲 病院臨床研究支援センター・助教 眞鍋 貴行  共同研究機関

	<p>○研究責任者 北海道科学大学薬学部 薬物治療学分野 准教授 大滝 康一</p>
研究の意義、目的	<p>炎症性腸疾患（IBD）は、現在までに完治する治療法は確立されておらず、薬物治療を中心とした活動期から寛解期への早期移行または寛解の長期の維持が治療目標となっています。治療目標を達成するためにはお薬を適切に使用する（服薬アドヒアランス）のが重要ですが、服薬アドヒアランスの低下の原因に薬識不足や体調改善による自己休薬などがあります。旭川医科大学病院では、消化器内科医師と薬剤師が連携し、服薬アドヒアランスの改善や維持を通じて薬物療法を適切に実施する目的で2021年7月から薬剤師外来を開設しました。</p> <p>本研究では薬剤師外来の効果を調べるために実施します。</p>
研究の方法	<p>旭川医科大学病院を受診された潰瘍性大腸炎またはクローン病の症患者さんのカルテ情報を調査し、薬剤師外来の有効性に関する統計学的解析を行います。</p>
その他	<p>特になし</p>
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 旭川医科大学病院 連絡先 0166-69-3490 担当者：病院薬剤部・国内研究員 岩山訓典（研究代表者）</p>